

# “Conspiracy Theories in the Classroom”要約

京都大学文学部 内藤淳之佑

## 概要

これは、UCL教育研究所講師のジェレミー・ヘイワードとジェマ・グロンランドによって作成された、教室で実際に陰謀論に対処する教師のためのガイドラインである“Conspiracy Theories in the Classroom”を日本語で要約したものである。このガイドラインの概要は以下。

- 1章はガイドラインの目的や内容の概説。
- 2章では、陰謀論の社会に対する弊害の深刻さを念頭に、教育現場において陰謀論に適切に対処することの重要性が強調される。
- 3章では、陰謀論が持ち出された際の指導要領が確認される。
- 4章では、教室で取り組むべき具体的な教育アプローチと、利用可能な教材が提示される。
- 5章では、陰謀論への信念が形成される仕組みが解説され、教師に求められる対応が再度確認される。
- 6章では、主要な陰謀論の大まかな内容とそれぞれに関する注意点が示される。

このガイドラインが提示する指導要領は、簡潔にまとめれば以下ようになる。つまり、生徒が教室で陰謀論を持ち出したときは、①陰謀論に対する強い否定や言い争いを避けながら、②その生徒が陰謀論をどれだけ深く信じているのかを、時には教室外でのくだけた会話も交えながら見定めて、③両者の共通の基盤を見つけ、批判的思考を陰謀論そのものに向けさせるようその生徒に促すということ。また、指導にあたって参考にできる詳細なチャートや、陰謀論に関する用語やトピックの解説が盛り込まれており、教師にとって実用的であるように設計されているといえる。

## 要約

### 1章：はじめに

このガイドラインの目的は、生徒が教室内で持ち出した偽情報や陰謀論に対処する際の要領を教員に提示することである。

### 2章~3章：背景と指導法

#### 2 i 用語解説

フェイクニュース	虚偽や大幅に改変された情報の総称
マルインフォメーション	真実の情報だが、意図的に有害であるように作られているもの
偽情報	意図的に有害であるように作り上げられ、見

	た人を信じさせるように設計された虚偽の情報
誤情報	悪い意図のもとに共有・作成されるわけではないが、有害でありうる虚偽の情報
陰謀論	あるグループが密かに共謀し、社会に害を与える一方でそのグループの利益を上げること、というのが主要な定義。その他、すべての事象は必然的に発生し、その見かけ通りではなく、相互に関連しているとか、公式の発表は虚偽であるといった信念が共有される場合もある。

## 2 ii 学校が陰謀論に対応することの必要性

陰謀論を信じる人が増えていることを示す統計データがあり<sup>1</sup>、SNSの利用頻度が高い若年層においてその傾向が特に強い。SNSは偽情報や陰謀論が拡散するのを確実に助長しており、社会に対する実害<sup>2</sup>も出ている。これらのことを踏まえると、学校が偽情報に関連する問題に取り組む必要性がある。

## 2 iii 学齢期の生徒と陰謀論や偽情報との関係

生徒と陰謀論/偽情報との関係について、以下のような推察が列挙される。

- ・陰謀論的な思考は14歳頃から発達し始め、さらに青年期後半にピークを迎えるかもしれない。
- ・陰謀論は、生徒のアイデンティティの一端を担っているかもしれない。
- ・若年者が偽情報や陰謀論に引き込まれるのは、彼らがアイデンティティの形成の途中にあり、反抗心や不安を抱きやすい時期にあるという事情が関係しているかもしれない。
- ・陰謀論や偽情報への信念がアイデンティティに組み込まれると、対処が難しくなる可能性がある。
- ・若者は、インターネット世代ではあるものの、だからといって偽情報やフェイクニュースを見抜くことが得意なわけではないようである。

## 2 iv 教育現場の現状

現在、教育現場では陰謀論に対処する準備が十分に整っておらず、陰謀論が持ち出されたことでパニックが起こったり、陰謀論を恐れて話題を避けてしまったりするという実態がある。

## 2 v ~ 3 iii, 5 v 一般的な対処法

### ①陰謀論の話題を止める

<sup>1</sup> YouGov (2019) Which science-based conspiracy theories do Britons believe? Retrieved from <https://yougov.co.uk/topics/science/articles-reports/2019/04/25/which-science-basedconspiracy-theories-do-britons>

<sup>2</sup> たとえば、新型コロナウイルスが新しい5G携帯器の鉄塔に関連しているという偽情報が拡散され、イギリスだけでも159の鉄塔が攻撃される事件が起こった。Ofcom (2020) Connected Nations 2020:UK Report retrieved from [https://www.ofcom.org.uk/\\_\\_\\_data/assets/pdf\\_file/0024/209373/connected-nations-2020.pdf](https://www.ofcom.org.uk/___data/assets/pdf_file/0024/209373/connected-nations-2020.pdf)

教育においては、時に生徒の主体的な議論の機会を設けることが求められるが、偽情報や陰謀論のなかでも合理的な議論の余地がないものに関しては、偽りとして扱う立場を取ることを勧める。その際に意識すべきなのは、バランスの取れた対応である。持ち出された偽情報や陰謀論を安易に否定してしまうと、陰謀論への信念をさらに強める(後述する「バックファイア効果」、生徒の発言の自由を損なうといったリスクがある。反対に、偽情報や陰謀論について細かく検討するとなると、議論の中で様々な望ましくない結果が生じるリスクが生じるため、会話を打ち切る必要がある。したがって、教師には、陰謀論の考えを頭ごなしに否定せずに認めたとうえで、その考えに対する反論を与えて危険性を警告し、その話題を止めるという対応が望まれる。必要に応じて、後日その話題を再び取り上げてよい。

## ②教室の外でお話する

生徒が口にする陰謀論に人種差別的な要素が含まれていたり、生徒が陰謀論に深く引き込まれていたりすると、懸念が生じる。そのため、生徒が偽情報や陰謀論を持ち出したとき、彼らの信念の度合いや取るべき対応を見定めるために、教室の外でくだけた会話をするのも良いアプローチである。

## ③批判的思考を促す

偽情報や陰謀論を信じる生徒と話をするときは、相手を陰謀論者としてレッテル貼りしたり論駁しようとしたりせず、互いが共有する基盤を見つけることに努めるべきである。また、陰謀論を信じる人は自分の信念については棚上げて懐疑を向けないことが多いので、批判的思考を陰謀論そのものに向けてそれが誤りである可能性があることを考慮するように促すことを勧める。

## ④教室で陰謀論を共有しない

教師は陰謀論への信念を教室で共有すべきではない。学会で合意が取れていないことについては教師が個人的な見解を述べるのが許容されるが、地球の成り立ちのような学会で大筋の合意がとれていることに関しては、科学的な証拠を提示して生徒を一般的な信念へと導くことが求められる。学会の見解と相反する陰謀論についても、教師がその信念を表明することには問題がある。加えて、陰謀論は人種差別的要素を含むので、学校における平等の義務に反する。

そして、以下は陰謀論に対抗するアプローチの例。これらはいずれも、陰謀論的思考の一般的な欠陥を指摘するものである。

### ・人間本性

人間は本性的に秘密を守ることに長けていない。したがって、陰謀と推定される事象の規模が大きければそれだけ、それが真実である蓋然性は低くなる(例えばイルミナティの陰謀論)。

### ・誤ったタイプの調査

陰謀は確かに存在するが、それを明らかにするためには従来の調査方法や内部告発が求められる。オンライン上のプラットフォームで憶測やアイデアを共有・発信することは、正当な調査とはいえない。

### ・信頼できる証拠の欠如

陰謀論は多くの人々が長い間議論してきたが、それでも信頼できる証拠は挙がっていない。一般的に、何かが存在することを証明するのは一つの事例を見つければよいので簡単だが、何かが存在しないことを証明するのは難しく(悪魔の証明)、陰謀論においてもこの困難がある。それでも、信頼できる証拠の欠如は考慮されるべきである。

### ・閉鎖的な循環思考

批判的思考においては、自分の信念に反する証拠があればその信念を捨てる。しかし、閉じた循環思考に陥っていると、反論を含めあらゆる出来事を自分の信念の証拠としてしまい、その信念は反証不可能になる。

## 4章：教室での取り組みについて

### 4 i 一般的な教育アプローチ

- ・メディアリテラシーの知識を身につける  
メディアの仕組みや偽情報/陰謀論が拡散しやすい理由などを理解する。
- ・メディアリテラシーのスキルを身につける  
偽情報や陰謀論の特徴の見つけ方を習得する。
- ・メディアリテラシーに関するアクティビティを行う  
偽情報を批評したりニュース記事に評価をつけたり、さらには偽のニュースの見出しを自分で創作したりするなどの活動を通じて、偽情報に対する防御力をつける。
- ・騙されないためのコツを覚える  
情報を目にした際に確認すべき項目を簡単に覚えておくための標語も有用である。例えば、”face the FACE”のようなもの。FACEとは、情報を見た際の感情 (Feeling) を自覚する、自分の価値観を括弧に入れて情報の正確さ (Accuracy) を問う、情報の源に注意して情報の信頼性 (Credibility) を確認する、他のソースも参照して情報の証拠 (Evidence) を確認する。
- ・偽情報を予め虚偽として伝える  
ある偽情報を初めて耳にすると、その偽情報が誤ったものとして提示されるならば、それを聞いた人はそれ以降同じ偽情報に触れても大抵それを信じない(「免疫」ができる)。

### 4 ii 教材一覧

#### **Bad News game**

偽/誤情報の拡散をモデル化するオンラインゲーム

<https://www.getbadnews.com/#intro>

#### **Sense about Science: Evidence Hunter Pack**

11-14歳向けの課外学習用教材で、生徒がオンライン上で目にした主張を評価するためのもの

<https://askforevidence.org/articles/evidence-hunter-activity-pack>

#### **Be internet citizens**

オンラインの世界について知りながら批判的思考を身につけるための教材

<https://internetcitizens.withyoutube.com/#teaching-resources>

#### **Association of Citizenship Teaching**

中学校の教員向けの、メディアリテラシーについて教えるためのリソースを提供するサイト

<https://www.teachingcitizenship.org.uk/resource/media-literacy-teaching-resources>

## Shout out UK

メディアリテラシーに関する教材集

<https://www.shoutoutuk.org/media-literacy>

## Digital Disruption

虚偽の陰謀論を主題とする動画集

<http://blogs.boldcreative.co.uk/digitaldisruption/films/n>

## Checkology

人々がなぜ陰謀論を信じてしまうのかを学ぶための、動画とアクティビティの複合型教材

<https://get.checkology.org/lesson/conspiratorial-thinking/>

## Newseum Ed

フェイクニュースやクリックベイト<sup>3</sup>に関するアクティビティ

<https://newseumed.org/tools/lesson-plan/cooking-clickbait>

## Conspiracy Lesson from Tower Hamlets

陰謀論の構造を学び、実際に陰謀論を作ってみるという内容の教材

<https://since911.com/education-programme/guidance-more-resources/conspiracy-theories>

## 5章：間違った情報を信じるメカニズムについて

### 5 i バイアス

新たな事実や証拠に応じて信念を改訂していく、というのが推論の本来のあり方だが、他の要因(既存の信念を守る、議論で勝つ、など)によって推論が動機づけられ、バイアスが入り込むこともある。そのメカニズムが、信念形成の仕組みを参照して説明される。

#### 信念形成の2つのシステム

- ①感情、先入観、直感などに基づくシステム
- ②理性に基づくシステム

①が優位だと理性は感情や先入観に奉仕することになり、このときバイアスが生じうる。実際、①が優位である場合が多いようである。

#### バイアスの種類

##### ・確証バイアス

自分の意見を支持する情報ばかり見て、それを否定する証拠を無視する傾向

##### ・反証バイアス

自分の信念を吟味するよりも、自分の信念とは反対の立場の議論を否定し、批判することに多くの時間を費やす傾向

##### ・バックファイア効果

---

<sup>3</sup> 目を引くためにつけられる煽動的な見出し。

信念に反する情報を得ることで、信念が弱まるのではなくむしろ強まるという効果

・強化

いったん自分の立場を表明すると、それを守らなければならないというプレッシャーを感じてしまう現象

・信念固執

ある信念を、反証となる証拠があるにもかかわらず保持すること

実際の出来事に目を向けると、たとえばブレグジットにおける国民の反応には、これらのバイアスのほとんどが見られた。

## 6章: 主要な陰謀論

陰謀論には様々なものがあり、また重複することが多く、複数の陰謀論を信じてしまうことはままある。以下は、生徒が挙げる可能性がある陰謀論のタイプと、それに関して生徒が言うかもしれないこと、そして教師向けの心得。

・Qアノンあるいは”Q”

前提となる世界観は、小児性愛者による悪魔的で人食い人種が、世界的な性売買組織を動かしているというもの。トランプ前大統領は、小児性愛者の組織が暴露され逮捕される「嵐」を起こすために任命され、「Q」という名の深層国家のエージェントが、この「嵐」の詳細を断片的にリークしているとされる。信者は極右思想を持つことが多く、白人至上主義、反ユダヤ主義、人種差別との関わりが深い。

以下が信者の振る舞いの典型

- SNSでの投稿で、“Where we go one, we go all”という言葉で締めくくる。
- 拳を半分あげる敬礼
- #WWG1WGAというハッシュタグ
- 「嵐の中の戦士」を自称する
- トランプ前大統領の選挙は盗まれたのだと熱く語る
- 「子どもたちを救え」という一見穏当な標語を用いる場合もある

など

陰謀論と過激化は本来異なるものだが、Qアノンの極右思想は暴力に発展しかねない(実際に議事堂襲撃事件が起こった)。人種差別的な要素があるため、この陰謀論への関わり方が消極的なものであっても懸念される。

・イルミナティ

全体主義・権威主義による「新世界秩序」を確立するために、背後で糸を引く秘密結社。イルミナティは18世紀のバイエルンの知識人グループだったが、1960年代に『プレイボーイ』のライターが遊び心でこの名前を使い、この陰謀を作り上げた。シンボルは三角形の中心に目があるマークで、大衆文化の中でよく見かける。最近ではビヨンセやジェイ・Zなど、有名人がこのイルミナティのメンバーであるという噂が広がっている。

秘密結社やシンボル、そして陰謀論に関与しているとされる有名人の話を持ち出したときは要注意。

イルミナティに関して単にシンボルや有名人に興味を示しているだけならリスクは低い。しかし、「新世界秩序」の考えには反ユダヤ主義が含まれるため、イルミナティ関係の陰謀論に没頭している生徒が人種差別的な発言をすることに注意しなければならない。

#### ・新世界秩序

これは、主権国家を解体して一つの世界支配政府に権力を集約しようとするエリート主義者やグローバリストの思惑があるという考え方で、他の陰謀論にも登場する。新世界秩序の存在の裏づけとされるのは、マインドコントロールや人間に取って代わる技術の進歩、大衆監視体制、オカルト、政変やクーデターなど。この陰謀論においては、反WHO主義の傾向があるほか、シオニストの世界征服に向けて採択されたとされる偽の議定書である「シオンの長老たちの議定書」は実在すると信じられている。

この陰謀論は多くの要素を含むので、これに接している生徒が何を言うかを見極めるのは難しい。新世界秩序の名を挙げたり、世界規模の支配に言及したりする可能性がある。反ワクチンの文脈では、ワクチンが支配の一部であると言うかもしれない。

この陰謀論の根底にはグローバリゼーションや国際機関への疑念があるため、人種主義や、パンデミックの下で科学が阻害されるリスクがある。また、Qアノンと同様に他の陰謀論への信念に波及する恐れもある。

#### ・大いなる交替

イスラム教徒がフランス、ひいては白人、西洋の文明と文化に取って代わろうとしているという考えに由来するイスラム嫌悪の陰謀論。極右思想や白人至上主義との親和性が高い。

白人大量虐殺、または「入れ替わりによる大量虐殺」という、白人至上主義の理論に則ったヘイトスピーチをする可能性がある。EUのような組織がこの陰謀に加担しているとされるため、ブレグジットへの支持を声高に主張する可能性がある。

イギリスでは右翼によるテロの脅威があり、この陰謀論が暴力に波及するリスクは大きい。

### 疑似科学

#### ・スキヤムデミック/プランデミック、大いなるリセット

コロナパンデミックと大きく関連する陰謀論。スキヤムデミックは、世界の著名な指導者が世界経済を改革するためにパンデミックを画策したとするもの。大いなるリセットについては、世界の指導者たちがウイルスを利用して、有害な社会主義政策やグリーン政策を推し進めようとしていると主張する投稿がなされる。これらに関連する動画がYouTube上にあり、反マスクなど科学的主張を妨げる要素もある。

#### ・5Gと新型コロナウイルス

5Gの電話塔がCovid-19の蔓延と結びつけられ、5G技術は病気の蔓延に関係しているという陰謀論が広がった。2020年4月2日から4月6日の間に、20本の電話マストがこの陰謀論の支持者によって破壊された。

現在のパンデミックにおいて、ウイルスや、5Gとワクチンの関連性に関する誤情報がネット上に溢れかえっている。生徒のなかで5Gの陰謀論からワクチンの陰謀論に繋がるリスクがある。

最大の懸念は、誤情報をうけて生徒がCovid-19の脅威を軽視し、公衆衛生に関するメッセージが彼らに届かないこと。有名人のなかにはこれらの陰謀論を発信する者もあり、生徒が彼らに流されて誤った主張を推進するリスクは懸念されるべきである。また、これらの陰謀論はQアノンとの親和性が高いという点も懸念される。

#### ・反ワクチン

こちらコロナパンデミックの展開のなかで拡大したもの。ワクチンに対する反対の度合いは様々で、実験的な成分や未知の副作用を懸念する反ワクチン派もいれば、ワクチンが個人をマイクロチップ化し、グローバルエリートによる乗っ取りを行うもう一つのツールだと考える人もいる。極端なものでは、ビル・ゲイツがこのマイクロチップ技術を可能にするためにワクチンに資金を提供したという考えもある。

#### 単体の陰謀論について

多くの陰謀論は、事件は起こらなかった、巨悪としての政府によって仕組まれた、あるいは一般に知られているかたちとは違うしかたで起こったという主張を中心に据えている。例えば、ダイアナ妃は王室によって殺されたという説、ジェフリー・エプスタインの獄中死は自殺ではなく、彼の犯罪行為に関与した自分たちを守るために彼の死を望んだ人々によって画策されたという説、月面着陸はアメリカ政府によって捏造されたという説、サンディフック事件では現実ではなく俳優によって演じられ、9/11事件はブッシュ政権やCIAによって画策されたものであるという説などがある。